

BERテストソリューション / アンリツ株式会社

光インタフェースに対応した
拡張可能な小型BERテストツール

バックボーンの高速化に伴い、伝送装置に実装される光トランシーバモジュールやデバイスの開発が盛んに行われ、さまざまなビットレート、信号を送受信しその波形を評価できるBER測定器のニーズが高まっている。



インターネットの普及と伝送容量の増大により、バックボーンの伝送速度が2.5Gbit/s、10Gbit/sと高速化し、近年では40Gbit/sの伝送システムも商用化され始めている。これに伴い、伝送装置のデータ転送速度の高速化を可能とする光トランシーバモジュールやデバイスの研究、開発が盛んに行われ、さまざまなビットレート、信号レベル、パターンを送受信しその波形を評価できるBER測定器のニーズが高まっている。

アンリツが新たに開発したMP1800シリーズは、小型で柔軟なシステム構成が可能で、12.5Gbit/sまでのBER試験が可能である。XFP、SFP、PON-OLTなど光トランシーバモジュールやデバイス、バックプレーン試験に最適である。さらに2台のMP1800Aに対応しMUX/DEMUX、シンセサイザーを組み合わせて使用することで、最高50Gbit/sまでのBER試験が行える。

モジュール形式を採用した
フレキシブルな機能構成

MP1800シリーズはプラグインユニット

形式を採用した。6種類のスロット式モジュールと各種オプションユニットを用途に応じて選択でき、柔軟な試験システムの構築が可能である。高速光トランシーバモジュールやデバイス、バックプレーンなどのBER試験が効率良く行える。

MP1800Aは、6つのスロット式モジュールが挿入でき、Windows[®](注)XPを使用したGUIとテンキー、ロータリーエンコーダを備え、研究、開発に適している。

MT1810Aは4つのスロット式モジュールが挿入できる低価格モデルであり、イーサネットを通して専用アプリケーションをインストールした外部PCから制御・検査用途に利用できる。

MP1800シリーズの代表的なアプリケーションとしては下記が考えられる。ファイバーオプティクスEXPO2007では、この中からの展示を予定している。

1) SFP光モジュール測定

MP1800シリーズのBER測定ユニッ

トは、様々なビットレートに対応したクロック再生機能を有し、XFPやSFP光トランシーバモジュールの測定を容易にしている。

2) OLTアップストリームテスト

FTTHで使われるPONシステムにおいて、OLTデバイスのアップストリームを評価することは課題のひとつであった。MP1800シリーズは、PON専用補助出力やパターン編集ソフトを用いて簡単に測定できる。

3) 40G デバイステスト

MP1800シリーズは4チャンネル同期PPG、EDとして構成し、MUX/DEMUXと組み合わせることで40Gbit/sデバイス測定が可能になる。BERと同時に40Gのジッタ測定も可能である。

(注) Windows は、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

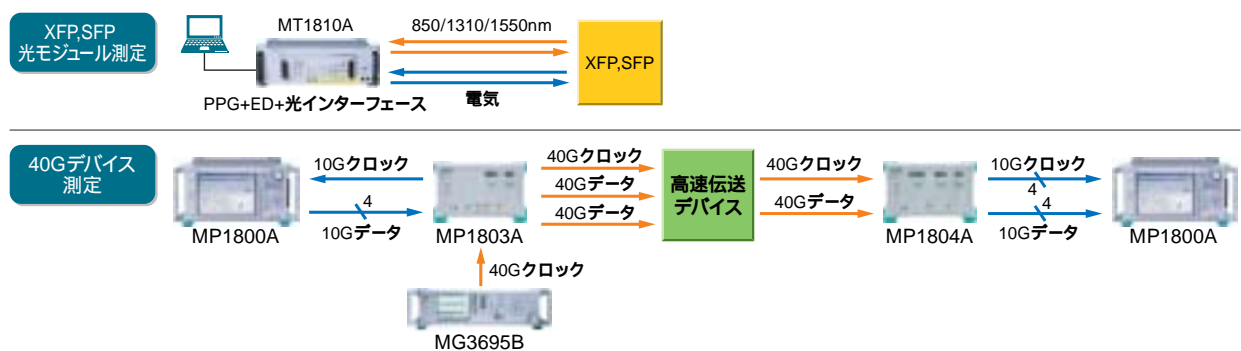
お問い合わせ先

アンリツ株式会社

神奈川県厚木市恩名5-1-1

TEL 0120-827-221(計測サポートセンター)

URL <http://www.anritsu.co.jp>



アプリケーション例